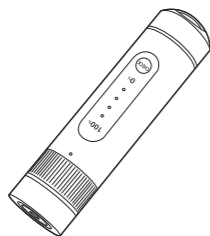


取扱説明書 拡張バッテリー

品番 **VW-BTA1**

SQT0893-1
F0315MZ1065



パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時~20時
フリーダイヤル パナは 365日
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504
大阪府門真市松生町1番15号
© Panasonic Corporation 2015

まずお読みください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」、「(重要)防水 / 防じん、耐衝撃性能について」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 本書はウェアラブルカメラ HX-A1H への取り付けを例に説明しています。
- 対応機種取扱説明書も併せてお読みください。
- 対応機種に関しては、取扱説明書、カタログもしくはホームページなどをご覧ください。
- ウェアラブルカメラは別売です。
- 本製品使用時に生じた本製品およびカメラの落下による事故や破損・故障については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

危険

■ **発熱・発火・破裂の原因となりますので、次のことは必ず守ってください**

- パソコンの USB-A 型出力端子で充電する。
- 指定の機器以外には使わない。
- 端子部を他の金属（ネックレスやヘアピンなど）と接触させない。
- ハンマーでたたくなど、強い衝撃を加えたり、変形、落下させたりしない。
- 高温の場所や火のそばでの充電・使用・放置をしない。
- 火中投入および、電子レンジやオープンなどで加熱しない。
- 分解、改造をしない。

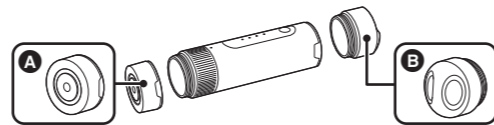
警告

- **異常・故障時には直ちに使用を中止する**
- **異常があったときには、USB 接続ケーブル及びカメラから外す**
 - ・煙が出たり、異常なおいや音がする
 - ・内部に水や異物が入った
 - ・本機が破損した
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- USB 接続ケーブル及びカメラから外した状態で、販売店にご相談ください。

- **内部に異物を入れたり、水などの液体をかけた りぬらしたりしない**
- ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 本機を水のかかる場所で使用するときは、ストラップアダプターを確実に取り付けてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

- **可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所 で使わない**
- 火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

- **カバーおよびストラップアダプターは、乳幼児の手の届くところに置かない**



拡張バッテリーから取り外した、**A** カバー、**B** ストラップアダプターは、誤飲防止のため、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

- **雷が鳴ったら、触れない**
 - 感電の原因になります。
 - 本機には、金属部があります。
- 接触禁止

- **ストラップなどで吊り下げる場合、ストラップアダプターは、動作を妨げる場所に取り付け ない**
- 事故やけがの原因となります。

注意

- **本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**
- 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
- また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

- **異常に温度が高くなるところに置かない**
- 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや付属品、内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

- **油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない**
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

- **取り付け状態を定期的に点検する**
- 使用中に外れたり落下すると、事故やけがの原因となります。ストラップアダプターと拡張バッテリーの取り付けに緩みがないか確認してください。

- **病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う**
- 本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

- **カメラの取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。**

(重要) 防水 / 防じん、耐衝撃性能について

防水 / 防じん性能
JIS 保護等級 IP68 に相当し、水深 1.5 m/30 分までの使用が可能です。*1

耐衝撃性能
MIL-STD 810F Method 516.5-Shock に準拠した当社の試験(厚さ 3 cmの合板上で 1.5 mの高さからの落下試験)をクリアしています。*2

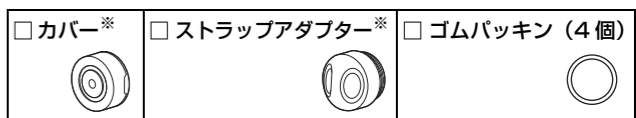
すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

- *1. 当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。
- *2. MIL-STD 810F Method 516.5-Shockとは、米国国防総省の試験法規格で、落下高さ 122 cm、落下方向26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を5台のセットを用いて、5台以内で26方向落下をクリアすることと規定されています。(試験途中で不具合が生じた場合は、新たなセットを用いて合計5台以内で落下方向試験をクリアすること) 当社試験法は、上記MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準として、落下高さ 122 cmを 150 cmとし、厚さ 3 cmの合板上へ落下させる試験をクリアしています。(落下衝撃部分の塗装剥離・変形など外觀変化は不問とします)

- 以下の状態での防水 / 防じんおよび耐衝撃性能を保証しています。本機の取り扱い、水中で使用する前のご確認、水中で使用したあとのお手入れおよび寒冷地や低温下でのご使用については、ウェアラブルカメラの取扱説明書をお読みください。
 - － 拡張バッテリーにウェアラブルカメラとストラップアダプターを正しく取り付けられた状態
 - － 拡張バッテリーにカバーとストラップアダプターを正しく取り付けられた状態
- 本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。
- ご使用前にゴムパッキンの損傷・異常がないことを十分にご確認ください。ゴムパッキンは摩耗部品です。そのため、一定期間を経過すると劣化します。1年に1回、もしくはカバーおよびストラップアダプターの付け外し 100 回程度を目安に交換してください。
- ゴムパッキンの交換については、ウェアラブルカメラに付属のちらし「付属のゴムパッキンの交換について」をお読みください。

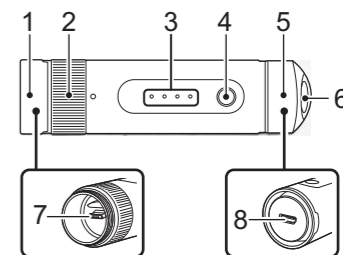
付属品

付属品をご確認ください。



- ※ お買い上げ時は本機に装着されています。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと適切に処理してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前

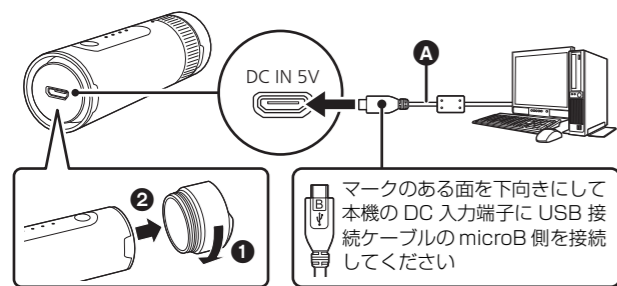


- 1 カバー
- 2 取り付けリング
- 3 残量インジケーター
- 4 CHECK ボタン
- 5 ストラップアダプター
- 6 ストラップ取り付け部
- 市販のストラップなどを取り付けることができます。
- 7 DC 出力端子
- 8 DC 入力端子 [DC IN 5V]

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

- 充電は周囲の温度が10℃～30℃のところで行うことをお勧めします。



- 1 ストラップアダプターを矢印の方向に回して、取り外す
- 2 本機とパソコンを USB 接続ケーブル (ウェアラブルカメラに付属) **A** で接続する

- 奥に突き当たるまで差し込んでください。
※奥に突き当たった状態で接続部に少しすき間が見えますが、正しく接続されています。
故障の原因となりますので、無理な力を加えないでください。
- 充電中は、残量インジケーターが赤色点灯または約1秒間隔(約0.5秒点灯、約0.5秒消灯)で赤色点滅します。詳しくは「残量インジケーターの見方」をお読みください。
- 充電完了後は、本機から USB 接続ケーブルを外し、ストラップアダプターを手順 1 と逆の方向に回して取り付けます。ゆるみのないようにしっかりと締めてください。

■ 充電時間の目安

充電時間	約 2 時間
------	--------

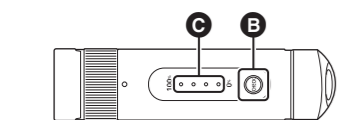
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温/低温時など、使用状況によって充電時間は変わります。

● お知らせ

- 必ずウェアラブルカメラに付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(ウェアラブルカメラの付属品以外をお使いの場合、動作を保証できません)
- ウェアラブルカメラと接続した状態で充電すると、充電時間が長くなります。
- パソコンがスタンバイ状態などの省電力モードの場合は、充電されないことがあります。パソコンの省電力モードを解除してから、本機を接続し直してください。
- USBハブやUSB延長ケーブルを使用しての接続では、動作を保証しません。
- USB端子があるすべての機器での動作を保証するものではありません。
- 使用後や充電後は本機が温かくなりますが、異常ではありません。
- USB モバイル電源や AC アダプターでの充電については、下記のサポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/video/connect/index.html>

バッテリー残量を確認する

CHECK ボタン **B** を押すと残量インジケーター **C** が赤色点灯し、バッテリーの残量を確認することができます。(残量チェック)



- 約 20 秒間赤色点灯し、自動的に消灯します。
- 残量インジケーターの表示はバッテリー残量の目安です。
- CHECK ボタンを押しても残量インジケーターが点灯しない場合は、バッテリーの残量がありませんのでバッテリーを充電してください。

残量インジケーターの見方

■ 充電時

(●:点灯 / ●:点滅 / ○:消灯)

残量インジケーターの点灯状況	バッテリー残量
100% ○○○● 0%	0% ~ 25%
100% ○○●● 0%	25% ~ 50%
100% ○●●● 0%	50% ~ 75%
100% ●●●● 0%	75% ~ 99%
100% ●●●● 0%	100%

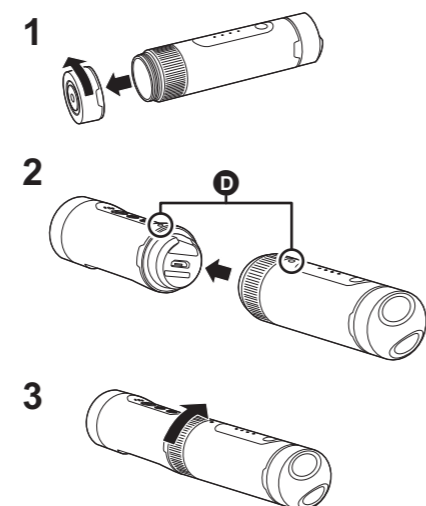
■ 残量チェック時 / ウェアラブルカメラに給電時

(●:点灯 / ●:点滅 / ○:消灯)

残量インジケーターの点灯状況	バッテリー残量
100% ○○○● 0%	0% ~ 10%
100% ○○○● 0%	10% ~ 50%
100% ○○○● 0%	50% ~ 70%
100% ○○○● 0%	70% ~ 90%
100% ○○○● 0%	90% ~ 100%

本機をウェアラブルカメラに取り付けて給電する

■ 取り付け方



- ウェアラブルカメラの端子カバーを取り外す
取り外し方については、ウェアラブルカメラの取扱説明書をお読みください。

- 1 本機のカバーを矢印の方向に回して、取り外す
- 2 本機とウェアラブルカメラの取り付けマーク **D** を合わせて接続する
- 3 本機のカバーを矢印の方向に回して、本機とウェアラブルカメラを取り付ける

- ゆるみのないように、しっかりと締めてください。
- 再度拡張バッテリー側を持って、取り付けリングにゆるみがないかご確認ください。
- 浸水を防ぐために、液体や砂、髪の毛、ほこりなどの異物を挟み込まないようにお気をつけください。
- 本機の残量インジケーターが赤色点灯し、ウェアラブルカメラに給電および充電を開始します。

■ 取り外し方

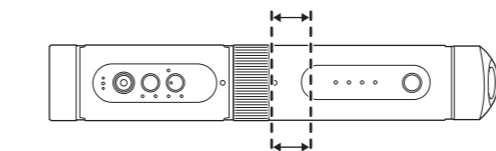
手順 3 と逆の方向に回して、取り外してください。

● お知らせ

- 拡張バッテリーのストラップアダプターを取り外して、ウェアラブルカメラに取り付けることもできます。
- 本機にカバーを取り付けるときは、取り付けリングを手で押さえながら、カバーを手順 1 と逆の方向に回して取り付けてください。

他のアクセサリと組み合わせて使用する

トライポッドマウント(VW-CTA1)、ツインマウント(VW-TMA1)、マルチマウント(VW-MKA1)と組み合わせて使用する場合は、図の位置に固定することをお勧めします。



● お知らせ

- ヘッドマウントと組み合わせて使用することはできません。

使用上のお願い

- 本機を落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- 砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。
- お手入れの際は、柔らかい乾いた布でふいてください。
 - －汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
 - －柔らかい乾いた布で取り除けない異物は、ブローアー(市販品)を使って吹き飛ばしてください。
 - －ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
 - －化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 端子部を汚したり、水などでぬらしたりしないでください。
- 端子部の穴にごみや砂など、異物が入らないようにしてください。
- 長期間使用しないときは、ウェアラブルカメラから外し、カバーを取り付けておくことをお勧めします。(ウェアラブルカメラにつけたままにしておくと、電源が切れていても、絶えず微小電流が流れています)そのままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。
- 寒い場所で拡張バッテリーを使用する場合は、ウェアラブルカメラに取り付ける前に、ポケットの中などに入れて拡張バッテリーを温めてください。バッテリーの性能の低下を抑えることができます。

■ 長期間保管する場合は

- 1年に1回は充電し、機器で充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。

■ リチウムイオン電池 (バッテリー)

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は、温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。特に温度の低いところでは、満充電にならない場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合があります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。

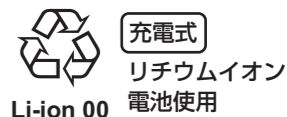
不要(寿命)になった拡張バッテリーについては、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



仕様

内蔵バッテリー [電圧 / 容量 (最小)] :
リチウムイオン電池 [3.7 V/720 mAh]

DC 入力端子 :
USB Micro-B 端子 (ソケット) DC 5.0 V 1.5 A

DC 出力端子 :
USB Micro-B 端子 (プラグ) DC 5.0 V 1.0 A

外形寸法 :
幅 26 mm x 高さ 26 mm x 奥行き 103.4 mm

本体質量 :
約 53 g

使用時質量 :
約 49 g (カバー除く)

許容温度 / 湿度 :
保存 : -10℃ ~ 60℃ / 0%RH ~ 90%RH
動作 : (放電) -10℃ ~ 40℃ / 10%RH ~ 80%RH
(充電) 0℃ ~ 40℃ / 10%RH ~ 80%RH

防水 / 防じん / 耐衝撃性能 :
「(重要) 防水 / 防じん、耐衝撃性能について」をお読みください。